



TOPIX

市民活動の拠点となる市民利用スペースの魅力的な活用を考えるワークショップ

令和6年度着工予定の「京丹後市庁舎増築棟」等の建設整備に向けて

庁舎増築棟等の整備に当たり、増築棟等の内外に設ける「市民利用スペース」の魅力的な活用方法を考えるワークショップを2月11日、峰山庁舎で開催しました。この日、0～70歳代の24人（大人18人・子ども6人）が参加し、4つの班に分かれて市民利用スペースの活用方法について意見を出し合いました。

その中で『屋外広場でマルシェ』『子どもが遊ぶスペース』『屋根があり雨でも利用が可能な空間』『学生の部活動や勉強の空間』など、家族連れや高校生の利活用を中心とした意見が多く出ました。また、会場に設けられたキッズスペースについて、参加者から「子どもを連れて参加しやすかった」などの感想がありました。ワークショップで出た意見をもとに、どのように設計に反映するかを検討し、今後広報でお知らせしていきます。



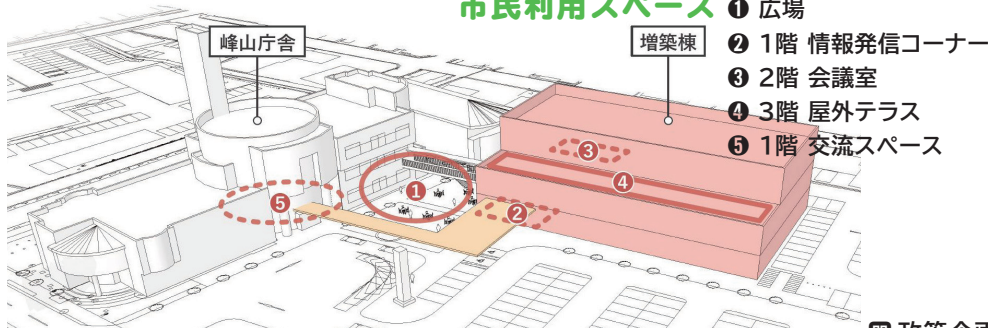
市民が利用する大切なスペース。大人と子どもが一緒になって考える



議論は白熱。さまざまな希望や意見が飛び交う

どう活用する？
市民利用のためのスペース

配置案イメージ



模型の外観図



政策企画課 Tel 0772-69-0120



▲演奏会の様子
◀米陸軍軍楽隊からの感謝状贈呈 ⑥から軍楽隊長チャップマン上級准尉、経ヶ岬通信所司令官 ウィア少佐、市国際交流協会 藤村会長、中山市長、防衛省近畿中部防衛局 茂籠局長

日米交流音楽会の開催

米軍軍楽隊と丹後吹奏楽団が共演

4年ぶり4回目となる日米交流音楽会（防衛省近畿中部防衛局主催）が2月19日、丹後文化会館で開催されました。

第1部は、地元から丹後吹奏楽団が出演し「ディズニー・マーチ」など全7曲を演奏。第2部では、キャンプ座間（神奈川県）から在日米陸軍軍楽隊が「イン・ザ・ムード」など全8曲を披露しました。この日、来場した300人を越える観客が美しい演奏に魅了され、音楽を通じて日米両国の交流を深めました。